

まえがき



心筋梗塞や不整脈に対するカテーテル治療をはじめとした医療技術の進歩により循環器疾患の予後は改善しました。また、近年心不全に対して ARNI や SGLT2 阻害薬など新しい内服薬の長期予後のエビデンスが多く報告され、生命予後の延伸に寄与しました。一方で、心不全患者数は人口の高齢化も相まって増加の一途を辿っており、急性期病院の循環器科医師を中心としたこれまでの診療ではなく、これからはプライマリ・ケア医やメディカルスタッフも含めた地域全体で心不全患者を支えていく必要があります。循環器を専門としないレジデントやメディカルスタッフも心不全診療を体系立てて学ぶ機会の需要が高まっています。

2013 年に 40 歳以下の心不全診療に興味を持つ有志の若手医師で U40 心不全ネットワーク (<https://u40hf.com/>) が結成され、心不全診療の臨床現場を担う若手の医師たちが施設を超えて自由闊達に議論をすることができる場が生まれました。U40 心不全ネットワークでは、2022 年 1 月から心不全診療に携わるメディカルスタッフやレジデント向けの通年企画として月に 1 回の WEB 勉強会『心不全道場』を開催しており、初年度から 3,000 人以上の申し込みをいただきご好評いただいています。今回はその書籍化を熱望する声に応える形で本書の出版を実現することができました。

本書は、薬物療法や急性期治療、増悪因子・基礎疾患など各章ごとに分類し、U40 心不全ネットワークに所属する臨床現場の最前線で活躍している医師のレクチャーに加えて、実際の『心不全道場』企画で視聴者からいただいた質問を各章末に「ここも教えてほしい！ Q&A」という形で掲載しました。心不全の基本的な内容を各章ごとに体系立ててまとめるとともに、実際の臨床疑問に Q&A で答えることでより実践的な書籍が完成したと自負しています。

多忙な臨床業務の中、より実践的な内容の執筆にご尽力いただいた執筆者の先生方へ感謝の念に堪えません。最後に、本書の発行に際し、貴重な機会をいただき、企画、編集いただいた羊土社の編集部の皆さまに心から感謝申し上げます。

2023 年 10 月 齋藤 秀輝